

# ぶらり 尼さんぽ

阪神尼崎・出屋敷・大物

- ⑦ 尼崎寺町七福神めぐり
- ☐ 「尼崎あんかけチャンポン」提供店
- ハローサイクリング設置箇所



あまがさき観光局公式 SNS

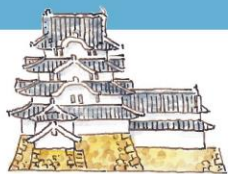


城下町の形成と関わりの深い寺町、潮風かおる築地。  
 海に面したまちの「はじまり」がここに。  
 暮らしに密着した商店街には、気取らないグルメも。  
 尼崎城の再建で注目のエリアには、このまちの魅力が詰まっています。



# ぶらり尼さんぽ

阪神尼崎・出屋敷・大物



## 尼崎城 北城内27

江戸時代初期の元和3年(1617)、幕府の命を受けた5万石大名戸田氏鉄によって大阪城の西の守りとして築城。海に近く、城全体が海に浮かんでいるように見えたことから、明治の廃城令までの約250年間「琴浦城」の名で親しまれてきました。

家電量販店旧ミドリ電化の創業者・安保詮氏が「創業の地に恩返しをしたい」と、約12億円の私財を投じて天守を建設。完成後に尼崎市に寄贈され、平成31年(2019)3月にオープン。

☎06-6480-5646 9:00~17:00

入城料 一般・学生 500円、小中高校生 250円  
月・年末年始休(祝日の場合は翌日)

## 櫻井神社 南城内116-11 ㊟

明治15年(1882)、尼崎藩主の櫻井松平家の初代である信定公を御祭神として旧藩士の有志が建立。境内には旧尼崎城の鬼瓦や、最後の尼崎城主である忠興公が設立に関わった博愛社(のちの日本赤十字社)の記念碑も。



## 寺町 エリア

元和3年(1617)の尼崎城の築城によって、城域に散在していた寺院を集めてその一画を寺町としたもの。現在も3.9haに11か寺が軒を連ね、国指定の重要文化財のほか県や市指定の文化財も多数。賑やかな佇まいが城下町の面影を伝えています。



## 本興寺 開明町3-13 ㊟

法華宗本門流大本山で、学校法人法華学園興隆学林専門学校という教育機関も設置されています。日蓮上人の戒刀で、国指定重要文化財、天下五剣の一つと言われる「数珠丸恒次」を所蔵し、毎年11月3日の虫干会には、他の文化財とともに一般公開されています。

## 廣徳寺 寺町8 ㊟

臨済宗大徳寺派の寺院。本能寺の変で豊臣秀吉が中国大返しの際に、明智勢に追われて廣徳寺に逃げ込み、僧に化けて台所で味噌をすり難を逃れたという逸話が残っています。

## 法園寺 寺町5

浄土宗鎮西派の寺院。肥後国人一揆の責任で豊臣秀吉に幽閉された佐々成政が、天正16年(1588)に法園寺で切腹させられたといわれ、本堂内には墓石の五輪塔があります。

## 大覚寺 寺町9 ㊟

律宗の寺院。摂津国八十八箇所第65番札所で、現存する尼崎最古の古刹。推古13年(605)聖徳太子が百済の高僧日羅上人に命じて長州の浦に作らせた寺と伝えられています。毎年2月3日の節分祭では、本堂手前の能舞台上で、大覚寺身振り狂言が執り行われます。

## 商店街エリア



## 中央・三和商店街

阪神尼崎駅～出屋敷駅間に広がる商店街群は、阪神間でも最大規模。日本一早い阪神タイガース優勝マジックボードや、江戸時代から続く老舗のかまぼこ店「尼崎栞干」、尼崎出身の漫画家尼子騒兵衛さんが描いた七福神アーケード、自転車マナー向上をめざすイベントなど、豊富な話題で地元可愛れています。



## 尼信会館 東桜木町3

尼崎信用金庫が平成13年(2001)に開設。尼崎藩主榊井松平家ゆかりの重要文化財「太刀 銘守家」をはじめ、歴史的に貴重な資料を数多く常設展示しています。

☎06-6413-1121 10:00~16:00  
入館無料 月・祝休(土日と重なる場合は開館)、12月29日~1月5日

## 世界の貯金箱博物館

西本町北通3-93

日本はもちろん、欧米やアジア、中東など古代から現代まで世界62カ国、24,000点を超える貯金箱を収蔵する、わが国最初の貯金箱博物館です。

☎06-6413-1163 10:00~16:00  
入館無料 月・祝休(土日と重なる場合は開館)、12月29日~1月5日

## 尼崎えびす神社 ㊟

神田中通3-82

菅原道真公が九州の大宰府へ赴く途中、尼崎の海辺の神社に立ち並ぶ老松や砂浜の美しさに目を奪われ、船を停め上陸。「ここは殊のほかのよき浦なり」「松は琴柱の並びたるが如し」と称されたことから、「琴の浦」の名の発祥と言われています。



## 開明庁舎 開明町2-1-1

旧開明尋常小学校の校舎で、昭和12年(1937)竣工。敷地西側の壁には、太平洋戦争時の米軍機による機銃掃射跡が残ります。国の登録有形文化財。



## 大物エリア



## 大物主神社 大物町2-7-6 ㊟

平安時代後期に、平清盛が厳島神社の祭神を勧請合祀し、海上交通の要所かつ難所であった大物浦の安全を祈念したと伝えられています。また、「義経千本桜」の舞台としても知られ、源頼朝から追討された義経が大物浦より船出す際、東側にあった七軒長屋に一時滞在していたことから、境内には「義経弁慶隠家跡」の碑も残っています。

## 深正院 大物町2-8-26

尼崎藩主榊井松平家の菩提寺。日本各地に伝わる「皿屋敷」伝説の舞台の地のひとつで、境内の井戸を怪談と関連づける伝承が残っています。



## 小田南公園 杭瀬南新町3-3

旧尼崎紡績の工場跡地を尼崎市が取得し、日本初の防災公園として昭和58年(1983)に開園。阪神タイガース二軍の本拠地として令和7年(2025)に再整備される予定で、球団の若手選手の聖地となることが期待されています。

発行/一般社団法人あまがき観光局  
☎06-6417-4946  
<https://kansai-tourism-amagasaki.jp/>  
2022年9月発行



㊟ 御朱印対応の寺社 本興寺・廣徳寺・甘露寺・常楽寺・善通寺・大覚寺・長通寺・如来院・専念寺

※御朱印巡りにご注意ください/不在の場合が多いので事前に確認した上でお越し下さい。門が閉まっている場合は呼び鈴を押して頂ければ入ることができます。